

平成23年 3月31日
青森河川国道事務所
青森地方气象台

洪水予報を行う河川に

つちぶちがわ きゅうだいばちがわ

土淵川、旧大蜂川を追加しました

～洪水予報の対象範囲を拡大～

これまで、洪水により国民経済上重大または相当な損害が生じるおそれがある河川については、国土交通省と気象庁が洪水予報指定河川として定め、共同で洪水予報を行い、報道機関等を通じて発表してきたところです。

青森河川国道事務所と青森地方气象台では、洪水の状況を自治体や地域住民に的確にお知らせし、避難行動等の判断に役立てられるように、3月31日から新たに平川支川の土淵川（弘前市）、岩木川支川の旧大蜂川（弘前市）の国管理区間について洪水予報の提供を開始します。

【平成23年 3月31日から洪水予報指定河川に追加する河川、予報区間】

河川名	予報区間	基準観測所
土淵川	土淵川 青森県弘前市大字大久保字宮本 277 番地先の国道橋下流端から平川への合流点まで (平川合流点から上流 0.37km)	百田 水位観測所
旧大蜂川	旧大蜂川 青森県弘前市大字小友字宇田野 658 番地先の県道橋下流端から岩木川への合流点まで (岩木川合流点から上流 1.85km)	幡龍橋 水位観測所

<発表記者会：青森県政記者クラブ>

問い合わせ先	
青森河川国道事務所 (Tel: 017-734-4560)	
調査第一課長	福田 修
青森地方气象台 (Tel: 017-741-7411)	
技術課長	長畑 和博

■洪水予報河川指定の追加について

今回、洪水予報実施河川として追加する区間は、本川の背水（はいすい）の影響を大きく受けると共に周辺流域状況から国民経済上重大な損害を生じるおそれのある河川です。

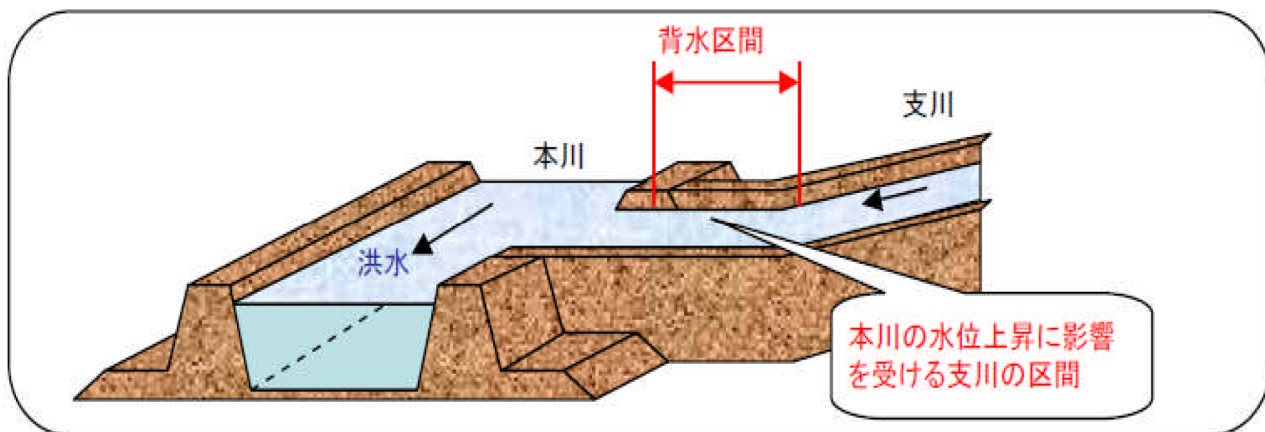
今般、洪水予測技術の精度向上や洪水予報実施体制等の準備が整ったことから、3月31日から新たに平川支川の土淵川（弘前市）、岩木川支川の旧大峰川（弘前市）の国管理区間について、洪水予報の提供を開始します。

- ・土淵川については、岩木川の支川である平川への合流点から上流 0.37km を実施区間として追加します。基準水位観測点は平川の「百田水位観測所」とし、平川下流に含めて洪水の監視、予報を行います。

- ・旧大峰川については、岩木川への合流点から上流 1.85km を実施区間として追加します。基準水位観測点は岩木川の「幡龍橋水位観測所」とし、岩木川本川に含めて洪水の監視、予報を行います。

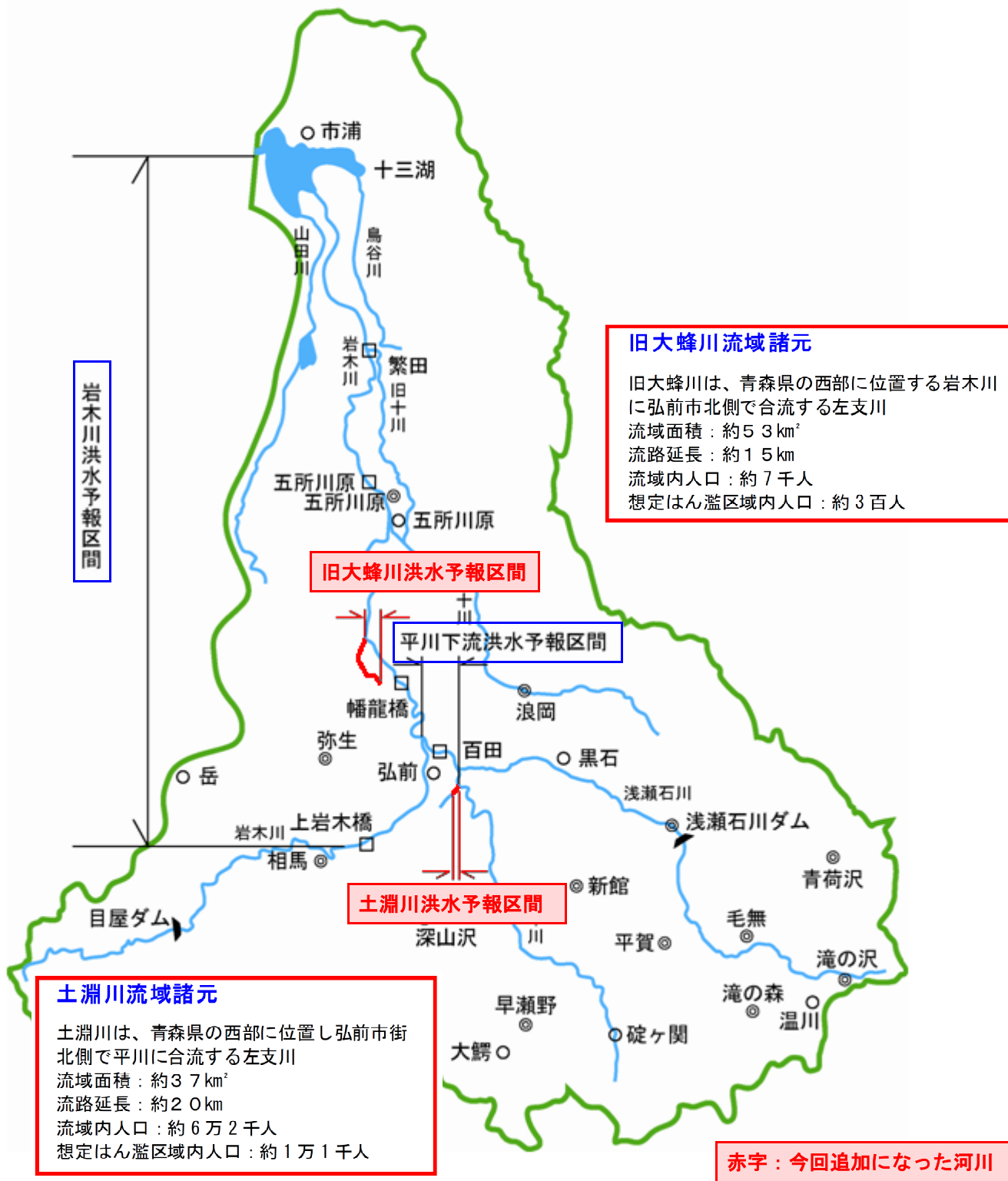
■背水（はいすい）区間とは

支川において、洪水時に本川の水位上昇に影響を受けて支川の水が流れづらくなり、水位が上昇する区間



【参考】岩木川水系洪水予報区間

- 凡例
- 気象庁雨量
 - ◎ 国土交通省雨量
 - 国土交通省水位
 - 流域界



【岩木川洪水予報指定河川の概要】

- 岩 木 川（実施区間：56.7km、洪水予報基準点：上岩木橋、幡龍橋、五所川原、繁田）
- ◎旧大峰川（実施区間：1.85km、洪水予報基準点：幡龍橋）

【平川下流洪水予報指定河川の概要】

- 平 川（実施区間：5.9km、洪水予報基準点：百田）
- ◎土 淵 川（実施区間：0.37km、洪水予報基準点：百田）

◎は今回の追加河川

～引き続き、住民への確実な情報伝達のため関係機関の協力をお願いします。～